

## ラートロフ採録満州語伊犁方言テキスト訳解

— キルギズの物語 (2) —

## 池 上 二 良

W. Radloff's Texts of the Ili Dialect of Manchu :

A Kirgiz Story (2)

translated

by Jirô IKEGAMI

199/

- <sup>3</sup> Waŋ bedaŋ ere morimbe yalufi yabume muderi de išinaha. Muderi de  
ワンベダンはこの馬に乗って行って龍のところに着いた。龍に
- <sup>4</sup> hendume, waŋ bedaŋ bi jiye, ši mimbe jeci uthai jefu, nuŋeci uthai  
言うのに、「ワンベダンの私が来た。お前は私を食うならすぐ食え。呑むならすぐ
- <sup>5</sup> nuŋe seme gisurere de, muderi alame, šimbe bi jembi, omimbi seme hsla-  
呑め」と言うとき、龍は告げて、「お前をわしは食う、呑むと言って呼んだ
- <sup>6</sup> hak8, minde biširiŋe nadan haha jui nadan urun bi, meñi ciŋai ocibe  
のではない。わしのところにいるものには七人の男の子七人の嫁がある。わしらの気まぐれでも
- <sup>7</sup> ubade jiderak8, mimbe ejen hese i tak8raha, waŋ be daŋ ere ba de uru-  
ここに来ることはない。わしを王様が詔をもって遣したのだ。ワンベダンはこの場所に必ず
- <sup>8</sup> nak8 jimbi seme gisurere de, bi jifi šimbe alame nadan aña oho. Waŋ  
来ると言うので、わしは来てお前を待って七年になった。『ワン
- <sup>9</sup> be daŋ jici, uthai miñi jahade gajifi jiu seme han gisureŋe biŋe. Mini  
ベダンが来たら、すぐわしのところに連れて来い』と王様が言ったのであった。わしの
- <sup>10</sup> ere jiŋeŋe uŋuri muderi meiŋe i mergen baturu, yasa dacun, җала ho-  
この来たのはすべての龍蛇のうち賢く勇気があり、目が利き、手がは
- <sup>11</sup> dun, gənin fakšin, yileŋu dacun, bi uthai inu, bi uthai inu  
やく、考えが巧で、舌が利くもの、わしが即ちこれである、わしが即ちこれである」
- sefi šimbe  
と言って「お前を
- <sup>12</sup> daŋalabufi han de acabume gamambi sefi, muderi waŋ be daŋ be daŋala-  
従え王様に会せに連れて行く」と言い、龍はワンベダンを従え
- <sup>13</sup> bufi yabume geneŋei emu saŋai hanci išinafi, muderi hendume, muse  
進んで行きながら一つの洞穴の近くに着くと、龍が言うのに、「我々は
- <sup>14</sup> uthai ere saŋa de došimbi, došiha maŋi dorgi de muderi meiŋe umuši  
早速この洞穴に入る。入るとなかに龍や蛇が大変

- 15 labdu, ši ume gelere. Saɣa de došime yabuha, došime genefi t'uaci,  
たくさんいる。お前は こわがってはいけないぞ。」洞穴 に入って 行った。入って 行って みると、
- 16 yargan̄-i meɣe muderi labdu, yacin geli bi, šayin geli bi, fulgan̄ geli bi,  
本当に 蛇 や 龍が たくさんいる。青いの も ある。白いの も ある。赤いの も ある。
- 17 ñoɣan sahaɣan hacin hacin muduri meɣe bi. Ese saɣa de došifi yabure  
緑 黒 さまざまの 龍 や 蛇が いる。これらが 洞穴 に入って 行く
- 18 de, meɣe i joɣɛn jailaraɣe, jogɛn jailara de ba akɛ oci, beye beye nu-  
と、 蛇 が 道を 避けるのに、道を 避けるところに 場所が なければ、からだまた からだの上
- 19 ɣude tafafi joɣɛn arambi. Utu yabuhai emu hotun sabumbi, hotun de  
に 上って 道をつくる。こうして 行くと 一つの 城が みえる。城 に
- 20 išinaha maɣi hotun dulimba-de emu amba bou sabumbi, tere bou de ya-  
着く と 城の まんなかに 一つの 大きな 家が みえる。その 家 に
- 21 rume gamafi duka de išinaha maɣi, ere amba duka be muduri uju-i  
導いて 連れて行き 門 に 着く と、 この 大きな 門 を 龍は 頭で
- 22 aname neɣe, muduri gisureme, be daɣ doši sere de, došime hšarañ-i  
押して 開けた。龍が 話して、「ベ ダン 入れ」と言う と、 入って かこいの
- 23 dulimba de išinafi t'uaci, morin hšaitara sele i tura ilibuhabi, tuktan  
まんなか に 到着し みれば、馬を つなぐ 鉄 の 柱が たてられていた。はじめの
- 24 tura de ebufi moriñ i jolɣo be tere tura de hšaitaci, tere ture alime  
柱 で おりて 馬 の 手綱 を その 柱 に つなぐと、 その 柱は 支え
- 25 muterakɛ, waikurafi tuɣeɣe, geli emu tura de gamafi hšaitaci, tere  
きれず、 ゆがんで 倒れた。また 一本の 柱 に 連れて行って つなぐと、 その
- 26 tura geli tuɣeɣe, yilaci tura de išinaha maɣi hšaitaɣa de, t'eni alime.  
柱 も 倒れた。三番目の 柱 に 着いて から つない で、 やっと 支えている。
- 27 Morin be hšaitafi bou de došici, bou-i dorgi de ñalma akɛ biɣe bi,  
馬 を つなぎ 家 に 入ると、 家の なか に 人は いなかった。
- 28 deši waši t'uaci, umai jaka saburakɛ, bou i dergi ergi de emu souriñ bi,  
あちこち みると、 全然 ものが みえない。家 の 東の 側 に 一つの 王座がある。
- 29 souriñ-i dergi de emu šayin meɣe hayafi deduɣebi. Ere be t'uame biɣei,  
王座 の うえ に 一匹の 白い 蛇が とぐるを巻き 横になっていた。これを みて いると、
- 30 ejen došime jiɣe, oi hojihun, ši sain jihena, bou de gemu sainna sefi,  
王様が 入って 来た。「おお 婿よ、 お前は 無事に 来たか。家 では みな 達者か」と言い、
- 31 hojihombe tebilefi ambula urgunjefi, labdu ñalma gemu haha hehe isame  
婿を 抱きしめ 大いに 喜び、 たくさんの人 が みんな 男も 女も 集って
- 32 jifi, gemu ere be muse i hojihun jiɣe seme urgujnefi, ama han hen-  
来て、 みな これ を 「我々 の 婿が 来た」と言って 喜び、 父の 王様が 言う

33 dume, t'e emu lama gajim' jiu, muse i sarγan jui hojihun be holboki  
のに, 「今 一人 仏僧を連れて来い。我々の娘と婿を娶わせよう」

34 sefi, bou i dorgide emu sain maikan cafi, maikan dorgi de meγse lakafi,  
と言って, 家のなかに一枚の立派な幕をはり, 幕の中にとばりをつるし,

35 jefhun šishi gemu belen ohu maγi, tere šayin meiγe jifi, tere maikan-i  
羊の毛の敷物やしとねがみな用意されたあと, その白い蛇が来て, その幕の

36 dorgide došime geneγe. Maikan dorgide waγ be daγ be geli došimbuha,  
うちに入って行った。幕のうちにワンベダンをも入らせた。

37 došimbufi lama be hslame gajifi, maikan dorgi de lama nomun hslame, jue  
入らせて 仏僧を呼んで連れて来, 幕のうちに 仏僧が 経を 読んで, 二

38 ñalma be sarγan jui meγse i dorgi de, waγ bedaγ be meγse i tulergi de, lama  
人 を むすめ を とばりのうちに, ワンベダンをとばりのそとに, 仏僧は

39 nomun hslame jue ñalma be holbohe (sic). Holbome wajifi, emu ajige sarin  
経を 読んで 二人 を 娶わせた。 娶わせ 終えて, 一つの小さな 宴を

200/

1 belyefi tukime jiγe maγi, tere šayin meiγe šue jere (jetere?) ak8, ere  
準備して 膳をもって 来ると, その白蛇は少しも たべ ずに, この

2 waγ be daγ majige jefi amyaya bici, šayin meiγe emu ergi de deduhebi, ere  
ワンベダンは少し たべ 眠っている, 白蛇は片側にねたのである。この

3 waγ be daγ, ere geli ai baita biγeni, minde šayin meiγe be sargan obume  
ワンベダンは, 「これはまた どういう ことなのか。私に 白蛇を 妻にして

4 buhebi utu gisurefi amyame muterak8 kurbušeme biγei amyafi gaitai  
与えている。」 こう 言って 眠れず もだえて いるうちに 眠り 突然

5 getefi t'uaci, emu saikan sarγan jui waγ be daγ be tebilefi getebume  
目がさめてみると, 一人の美しい むすめが ワンベダンを抱きかかえ 揺り起して

6 aγa be ogoro de, waγ bedaγ getefi t'uaci, yargañ-i emu fergecuke sar-  
口を接吻するとき, ワンベダンは目がさめみると, 本当に一人の世にも美しい む

7 γan jui ofi, bi šimbe šayin meiγe seme geleme goleme deduhe  
すめ となって, 「私はあなたを 白蛇だ と思いこわくて 一緒にいるのがいやで ねているうちに

heri am-  
ぐっすり 眠って

8 γaya bi. Jai ineγi erde iliγe maγi, sagda han jifi hendume, šinde miñi  
しまったのです。」翌日はやくおきたあと, 年老いた王様が来て言うのに, 「お前にわしの

9 sargan jui be buhe be dahame, ši miñi hojihun oho, miñi jui oho, t'e  
むすめを 与えたに よって, お前は 私の 婿 となった。私の子となった。今

10 ñalma i bou de bifi t'eci oyorak8, ši encu emu bou araci sain sefi,  
他人の家に いて 住むことはよくない。お前は別の 一軒の家をつくと よい」と言って,

- 11 ere wargi ergi de emu amba weisui bira bi, tere i dorgide emu fergue-  
「この 西の 方 に 一つの 大きい 渭水の 川がある。それの なかに 一つの 珍しい
- 12 cuke sain girayi bi, tere be gajifi bou ara seye maŋi, be daŋ morilafi  
よい 骨がある。それ を もって来て 家をつくれ」と言うので、ベダン は 馬に乗り
- 13 yabume geneŋei emu udu ba yabufi t'uaci, emu tala ba i dulimbade emu  
進んで 行きながら 一連の 場所を 通って行き みると、一つの 草原地 の まんなかに 一軒の
- 14 boiyoŋ-i bou sabumbi. Hanci geneŋi t'uaci, dorgi de emu sagda mama  
土 の 家が みえる。 近くに 行き みると、 なかに 一人の 老 婆が
- 15 deduŋe bi, golmin icibe gisureci, ere fajiran deri deduheŋe bethe uce  
横になっていた。長さの 方を 話すと、これが 壁 に沿って ねたところは あしが 戸口
- 16 de išinaha bi, ofuru bou i faŋšande išinaha bi, emu gala i šišara  
に 達して いた。鼻が 家 の 棟に 達して いた。一つの 手 で からむし
- 17 be acabumbi, emu gala i acabuha be bargambi. Ere mama waŋ be daŋ be  
を 集めている。一つの 手 で 集めたの を 収めている。この 老婆は ワン ベ ダン を
- 18 sabufi, waŋ be daŋ seme hɛlafi alame hendume, ši ya de genembi. Mini  
みて、「ワン ベ ダンよ」と 呼び 告げて 言うのに、「お前は どこに 行くのか。」「私の
- 19 amya ejen sarayan jui be minde buhebi, bou akɛ ofi ere wargi mederi de  
舅 の 王様は むすめ を 私に くれて います。家がないのでこの 西の 海に
- 20 emu fergucuke girayi bi sere, tere be gajifi bou arambi seme alara  
一つの 珍しい 骨があると言います。それ を もって来て 家をつくるのです」と 告げる
- 21 de, mama hendume, haha jui ši geneŋi hodun gaifi amaši mudaŋa maŋi,  
と、老婆が 言うのに、「男の 子よ お前は 行って 手ばやく とり あとへ 戻ると、
- 22 šiŋi amargi deri kaicame labdu ñalma i yilgan hɛlha be jafa seme kai-  
お前の うしろ から 叫び声をあげて たくさん の 人の 声が 『盗人 を つかまえろ』 と 叫
- 23 cara oci, ši ainaha seme amaši forofi ume t'udara, t'uaci uthai bu-  
んだら、お前は どんなことがあっても うしろへ ふり向いて みるな。 みれば すぐ 死
- 24 cembi. Be daŋ morilafi bira de išinafi, girayi be hodun hahileme acafi  
ぬ。」 ベダン は 馬に乗って 川 に 到着し、 骨 を 手ばやく 急いで 荷につけ
- 25 morimbe yalufi amaši mudame yabure de, mama i gisureŋe soŋkoi ñalma  
馬に 乗り あとへ 戻って 来ると、 老婆 が 話した 通りに 人が
- 26 amargi deri hɛlha be jafa seme kaicara yilgan umeši labdu tucicibe,  
うしろ から 「盗人 を つかまえろ」と 叫ぶ 声が ひどく たくさん おきても、
- 27 amaši forofi t'uah'akɛ šue yabume jiŋei bou de išinafi, girayi be  
うしろへ ふり向いて みず まっすぐ 進んで 来ながら 家 に 着き、 骨 を
- 28 emu fergucuke sain bou araha. Emu ineŋi amya jifi gisun gisureme  
一軒の 珍しい 立派な 家につくった。或 日 舅が 来て 話をして

- 29 alaraŋa, miñi jui, ši donji, šiñi ere bou arahaŋe umeši sain, damu  
言うのに、「私の 子よ、お前は きけ。 お前の この 家の つくりは 大変 立派だ。 ただ
- 30 bou i faŋšambe arare unde, ere bou i faŋšambe gidara, tere goro  
家 の 棟を まだつぐらない。 この 家 の 棟を 被うのだ。 あの 遠い
- 31 bade emu buŋ8 bi, tere buŋ8 i soko oci, ici ergi aiših ombi, weihe oci  
ところに 一匹の しかが いる。その しかの 皮 は、 右 側は 金 である。 角 は
- 32 geli aiših, hash8 ergi soko weihe gemu meŋun, ši erebe wame gajifi  
また 金、 左 側の 皮と角は みな 銀だ。 お前は これを 殺して もって来
- 33 soko be oci, booi faŋšam-be gidambi, weihe oci fa arambi. Waŋ be daŋ  
皮 を ば、 家の 棟 を 被うのだ。 角 は 窓を つくるのだ。」ワン ベ ダンは
- 34 morin de eŋemu toŋofi, morimbe yalufi yabume ere mama i baru geneŋe,  
馬 に 鞍を おき、 馬に 乗って 行って この 老婆 の 方へ 立去った。
- 35 mama hendume, oi waŋ be daŋ, ši geli ai baita bifi jiŋe. Waŋ be daŋ  
老婆が 言うのに、「おい ワン ベ ダン、 お前は また 何の 用事が あって 来た。」ワン ベ ダンは
- 36 alame, e mama, miñi amŋa gisureŋe bade emu buŋ8 bi sembi, ere buŋ8  
告げて、「はい お婆さん、 私の 舅が 話した ところに 一匹の しかが いる といいです。この しかは
- 37 ici ergi soko weiŋe gemu aiših sembi, hash8 ergi soko weiŋe gemu me-  
右 側は 皮 と角が みな 金だ といいです。 左 側は 皮 と角が みな
- 38 ŋun sembi, ere be wama gajifi bou be gida seme gisurembi, utu ofi bi  
銀だ といいです。『これ を 殺して もって来 家を 被え』 と 言います。 それで 私は
- 39 tere buŋ8 i soko weiŋe be gajime genembi seme mama de alara de, mama  
その しかの 皮 と角 を もって来に 行きます」と 老婆 に 告げると、 老婆が
- 201/  
1 hendume, be daŋ ši geneci, urunak8 bucere baita bi. Waŋ be daŋ gisu-  
言うのに、「ベ ダン お前は 行けば、 必ず 死ぬ ことが ある。」ワン ベ ダンは 話し
- 2 reme, bi bucecibe, urunak8 genembi seŋe maŋi, mama hendume, ši ge-  
て、「私は 死んでも、 必ず 行きます」と 言う と、 老婆が 言うのに、「お前が 行
- 3 neci, tere buŋ8 orho jetere ba de šiŋbe urunak8 orŋo i sasa jembi,  
けば、 その しかは 草を 食っている ところ で お前を 必ず 草 と一緒に 食う。
- 4 muke omire ba de oci, šiŋbe muke i sasa omimbi, ere buŋ8 amŋaŋa erin  
水を 飲んで いる ところ では、 お前を 水 と一緒に 飲む。 この しかが 眠った とき
- 5 de geneci ombi, ere buŋ8 amŋaci, emu gŋnin fakših erdemu bišire dobi  
に 行くが よい。 この しかが 眠れば、 一匹の 考えが 巧者で 能が ある きつね
- 6 be baran karabume t'ebuhebi, ere dobi uncehen na be tandame baika-  
に 形勢を 観望させて 坐らせて いる。 この きつねが 尾を 地 に 打って なけ
- 7 raci, dapkara hehe juse sumbi suci geo morin oci dahan maktambi, ere  
ば、 身重の 女は 子らを 流産する。流産すれば 牝 馬 は 子馬を 抛る。 この

- 8 dobi be ume yilgan tucibure uncehen be nade ume tandabure sefi, be  
きつね に ゆめ 声を出させるな。 尾 を 地に 打たせるな」と言う、ベ
- 9 daŋ morilafi yabuha.  
ダン は 馬に乗って 行った。
- 10 Yabume geneŋei hanci išinaha maŋi, tala i orŋo be gemu boihon tuci-  
進んで 行きながら 近くに 着くと、 草原 の 草 を みな 土 から 抜いて
- 11 buhebi, emu amba omo (nori) i muke be gemu omifi, omo (nore) olŋun de-  
ある。 一つの 大きい 湖 の 水 を みな 飲み、 湖は 乾いて 横
- 12 duhebi. Dobi i hanci išinafi, dobi uncehen be tukifi na be tandame kai-  
たわっている。きつねの 近くに 着くと、きつねは 「尾 をもち上げ 地 を 打って 叫
- 13 caki serede, be daŋ beri niru be solbifi, šimbe neneme gaptame wambi,  
ぼう」と言う、ベ ダン は 弓 矢 を つがえ、「お前を まず 射て 殺す。
- 14 ši ume kaicara, uncehen be ume tandara seme hendure de, dobi alame,  
お前は 叫ぶな。 尾 を 打つな」と 言う と、 きつねは 告げて、
- 15 miniŋe niŋun haha jui niŋun urun bi, bi ere ba de šimbe alame niŋun  
「おれには 六匹の 男 の 子 六匹の 嫁がある。おれはこの ところ で お前を 待って 六
- 16 aña oho, tere buŋ8 be ši wacibe, uthai wa, bi danarak8  
年 になった。 その しか を お前は 殺すにしても、 すぐ 殺せ。おれは 助けには 行かない」
- sefi waŋafi  
と言って 置き去りにして
- 17 yabuha. Be daŋ morimbe ñulhumbufi, buŋ8 be gaptame ñamam-be goifi,  
行った。 ベ ダン は 馬 を 馳けさせ、 しか を 射て 心臓 を 射当てると、
- 18 buŋ8 toŋolome tuheŋe. Be daŋ šiñi gaptame wara be nakafi, šiñi ban-  
しかは もんどりうって 倒れた。「ベ ダン お前の 射て 殺すの を やめ、 お前の 生
- 19 jiŋa erin de miñi fiyaŋu šimhun nimeŋe, mini sube ebcı tatabuŋa biŋe,  
れた とき に おれの 小 指が うずいた。おれの 筋 や 肋骨が つっぱって いた。
- 20 ši mimbe wara oci, ume bijara obure, bilŋa be kodume wa. Buŋ8 i bilŋa  
お前は おれを 殺すのなら、 心臓をやぶることはするな。 のど を やぶって 殺せ。」しか の のど
- 21 be kodume wafi, soko be feyeme gaifi, weiŋe be geli tandame gaifi, mo-  
を やぶって 殺し、 皮 を 剥いで とり、 角 を また 打って とり、 馬
- 22 rin yalufi bou i baru jifi jiŋe, bou de išinafi soko be bou i faŋ-  
に 乗って 家 の 方へ 来 来た。 家 に 着き 皮 を 家 の
- 23 šam-be gidaha, emu ergi i aišin funihe be ġa i ergi de gidaha, meŋuñ i  
棟 を 被った。 一方の 側 の 金の 毛 を 町の 側 に 被った。 銀 の
- 24 funiŋe be h8arañ i ergi de obufi, aišin weiŋe be bou i dergi ergi de  
毛 を かこいの 側 に し、 金の 角 を 家 の 東 側 に して

- 25 ñiɣun fa t'ebuha, meɣun i weiɣe be dalba ergi de fa t'ebuha.  
六つの 窓を あけた。 銀 の 角 を 片 側 に して 窓を あけた。
- 26 Amɣa geli be daɣ ni bou de jifi hojihun-i baru hendume, hojihun šiɳi  
舅は また ベ ダン の 家 に 来て 婿 に 向って 言うのに, 「婿よ お前の
- 27 ere bou gidahaɣe fa tebuheɣe umuši ferguecuke sain ohobi, emu aci-  
この 家の 被い方 窓の あけ具合は 大変 珍しく 立派 だった。 一つ そぐ
- 28 narakɔ ba bi sefi hendume, šiɳi horgun akɔ, tere gašaɳ-i amargi ergi  
わしくないところがある」と言い言うには, 「お前の 衣装戸だながない, その 村の 北の 方
- 29 de emu yacin daimin bi, tere daimin-i asha oci sain fuɣala bi, amba bime  
に 一羽の 青い わしが いる。その わしの 羽 は 立派な 綿毛のない羽 だ。大きく て
- 30 horgun arara de umuši sain ombi, šiɳi tere horgun sain oho maɣi,  
衣装戸だなをつくる に 大変 よい のだ。 お前の その 衣装戸だなが 立派に なる と,
- 31 šiɳi bou de huda arame yabure ñalma labdu ebumbi. Uttu seme gisurere  
お前の 家 に 商い して 歩く 人が たくさん 立寄る。」 このように 話す
- 32 de, be daɣ morilafi beri niru be gaifi šue amargi i baru genefi mama i  
と, ベ ダンは 馬に 乗り 弓 矢 を とりまっすぐ 北 の 方へ 行き 老婆 の
- 33 bou de išinaha maɣi, mama hendume, be daɣ, ši geli ai baita jiɣe se-  
家 に 着く と, 老婆が 言うのに, 「ベ ダン, お前は また 何の 用事 で 来た」と
- 34 re de, waɣ be daɣ alama hendume, mini amɣai alame henduhe gisun, ere  
言う と, ワン ベ ダンは 告げて 言うのに, 「私の 舅の 告げて 言った ことばに, 『この
- 35 amargi badı emu amba daimin bi sembi, tere be wame gajifi asha i hor-  
北の 地方に 一羽の 大きな わしが いる』と 言います。『それを 殺してもって来て 羽 で 衣装
- 36 gon araci umuši sain seme gisurembi seme mama de alara de, mama hen-  
戸だなをつくれれば 大変 よい』 と 話します」と 老婆 に 告げると, 老婆が 言う
- 37 dume, tere gasha i deyeme yabura erin de ši geneci, tere gasha i asha  
のに, 「その 鳥 が 飛んで 行く とき に お前が 行けば, その 鳥 の 羽が
- 38 depšire de ši bayabufi bucembi, tere amɣaɣa erin de geneci, teni ere  
はばたくと お前は 気が遠くなって 死ぬ。 その 眠った とき に 行けば, やっと これ
- 39 be wame mutembe (sic!), ere i feye i dalba de emu ġahun be baran karabume  
を 殺すことが できる。 これの 巢 の 傍 に 一匹の たか を 形勢を 観望させて
- 202/  
1 šindahabi, ere ġahun i ileɣu dacun, yasa hodun ferguecuke, taɣɔ ba i  
放してある。 この たか の 舌は 利き, 目は すばしこく 並はずれ, 百 里 の
- 2 dube be t'uambi, ereske gelecuke sere de, waɣ be daɣ bi urunaku genembi  
はて を みる。 こんなにも 恐ろしい」と言う と, ワン ベ ダンは 「私は 必ず 行きます」
- 3 sefi, hoaw biau morim-be yalufi, uthai juleši yabume geneɣei hanci iši-  
と言って, 黄栗毛の 馬 に 乗り, 直ちに さきへ 進んで 行きながら 近くに 着

- 4 name, tere baran karabuha ġahun amba yilġaṇ-i baikyraki sere de, be  
いて, その 形勢を 観望させた たかが 「大きな 声 で 鳴こう」と言う と, ベ
- 5 daḡ beri niru be tucibufi, ši ume baikyrara, ši baikyraci, šiṃbe  
ダンは 弓 矢 を 出して, 「お前は 鳴くな。 お前が 鳴けば, お前を
- 6 uthai neneme gaptambi sere, tere ġahun baikyrar'ak8 uthai deyefi  
早速 さきに 射る」と言う と, その たかは 鳴かずに すぐ 飛んで
- 7 yabuha Waḡ be daḡ morim-be ñolhumbufi niru be solbifi tere daimim-be  
行った。 ワン ベ ダンは 馬 を 馳けさせ 矢 を つがえ その わし を
- 8 gaptara de, top seme emu ergi ashaderi goifi cargi ergi asha be mokso  
射る と, まさしく 片 側の 羽を つらぬき 向う 側の 羽 を 破って
- 9 cakylaḡa. Daimim-be gaptame wafi gaifi, bou i baru jime bou de iši-  
ささった。 わしを 射 殺して つかまえ, 家 の 方へ 来て 家 に 着
- 10 naha maḡi horgun arame wajiha bici, iniḡdari hudai ñalma sunja i juaṇ  
いた あと 衣装戸だなをつくり あげて いると, 毎日 商いの 人が五人づれで十人づれ
- 11 i taḡ8 i ebume deribuha. Emu ineḡi amḡa jifi hendume, hojihun šiṇi  
で百人づれで立寄り はじめた。 或 日 舅が 来て 言うのに, 「婿よ お前の
- 12 horgon araḡaḡe bou ele hacin gemu acinambi, hudai ñalma gua  
衣装戸だなをつかったことで家 や あらゆる ものが みな そぐわしい。 商いの 人は ほかの
- bade ili-  
ところに 立
- 13 rak8 oho, uhuri gemu šiṇi ere h8aran-de jifi ebumbi, šiṇi ere bou de  
止らなくなった。 全部 みな お前の この かこい に 来て 馬をおりる。お前のこの 家 に
- 14 uḡuri gemu bi secibe, emu acanarak8 ba bi, šiṇi sargan emtuli,  
なんでも みな ある と言っても, 一つ そぐわしくない ところがある。お前の 妻は ひとりきりだ。
- šiṇde  
お前に
- 15 jue sargan oci t'eṇi t'esubumbi, abši seci, emu sargan  
二人の 妻が あれば はじめて 足りないところがなくなる。『どうして』と云えば, 一人の 妻は
- šiṃbe t'uaš-  
お前を 世話
- 16 tambi, jai emu sargan gaici, ere jidere hudai ñalma urse be t'uaš-  
する。 また 一人の 妻を 娶れば, これは 来る 商いの 人 たち を 世話
- 17 tambi, li yuan fai sere emu ejen bi, ede bišire gebu be lama yi  
する。 リ ユワン フェイ という 一人の 王様が いる。ここに いる 名 を ラマ イ
- sere emu  
と言う 一人の



- 18 sargan jui bi, ere sargan jui be gajifi širame sargan obuci, umuši  
むすめが ある。この むすめ を 連れて来 早速 妻 にすれば, 大変
- 19 sain ombi. Waŋ be daŋ hoŋ biau morimbe yalufi wargi baru yabume mama  
いい のだ。」ワン ベ ダンは 黄栗毛の 馬に 乗り 西の 方へ 行って 老婆
- 20 i bou de išinaha maŋi, mama fonjime, be daŋ ši geli yade genembi se-  
の 家 に 着く と, 老婆が 尋ねて, 「ベ ダンお前はまた どこに 行く」 と
- 21 re de, be daŋ tere mama de alame, bi tere emu li yuan fai sere ejen de  
言う と, ベ ダンは その 老婆 に 告げて, 「私は, その 一人の リ ユン ファイ という 王様に
- 22 emu lama yi sere sargan jui bi sembi, tere be gaime genembi  
一人の ラマ イ という むすめが ある と言います。それ を 娶りに 行きます」  
seme alara  
と 告げる
- 23 de, mama hendume, tere li yuan fai i bou umuši goro ba de bi, šiŋi  
と, 老婆が 言うのに, 「その リ ユン ファイ の 家は 大変 遠い ところ にある。お前の
- 24 morin t'e damu niŋun ineŋi yabure joŋun funceŋebi tederi  
馬は 今 ただ 六 日 行く 道のり の力が あまっているだけだ。それから  
caši ši  
向うへ お前は
- 25 abši genembi serede, bi uthai genembi sefi, be daŋ morilafi yabuha.  
どうして 行くのか」と言う と, 「私は すぐ 行きます」と言い, ベ ダンは 馬に乗って 行った。
- 26 Yabume geneŋei niŋun ineŋi yabuha maŋi, ere morin yaburak8 emgeri de-  
進んで 行きつつ 六 日 行った あと, この 馬は 行かずに 一度に 横に
- 27 dume gaiha, tandacibe emu alkan seme alkarak8 oho maŋi, be daŋ ebufi  
なって しまった。打っても 一 歩 も 進まなくなつた ので, ベ ダンは おり
- 28 ŋamki be tatame gaifi t'uaci, tere hoŋ biau moriŋ-i soko  
むちをあてすぎつかれた馬 を 鞍を とって みると, その 黄栗毛の 馬 の 皮は  
ŋamki be da-  
むちをあてすぎた馬 なので
- 29 hame bolko yabuha bi. Emu saksaha jifi moriŋ-i darim-be cokiha maŋi,  
すりへって しまっている。一羽の かささぎが 来て 馬 の 背の鞍擦れを つついたので,
- 30 morin incalame, ejen sabufi soŋome teŋei heri amŋaya  
馬は いなき, 主人は みて 泣きながら 坐っているうち ぐっすり 眠ってしまつて  
bici, morin ilifi  
いると, 馬は 立ち
- 31 nadan dapkara na i fijergi de nadan ineŋi oŋkome yabuha, tederi tu-  
七 重の 地 の 下 に 七 日 草を食いに 行った。そこから 出

- 32 cifi ñiŋun ineŋi nioŋan tala-da oŋkome yabufi ejeñi jakade jiye maŋi,  
て 六 日 緑の 野原に 草を食いに 行ってから 主人の ところに 来る と、
- 33 be daŋ kemuñi amyame deduhe bi. Morin jifi be daŋ be oforu i fun-  
ベ ダンは まだ 眠って 横になって いる。 馬が 来て ベ ダン を 鼻 で ついて
- 34 tume getebuhe maŋi, be daŋ urgunjeme bayalame ilifi morim-be t'uaci,  
目をさます と、 ベ ダンは 喜んで 気が晴れて 立ち 馬 を みると、
- 35 yargañ-i neneŋe ci ubui fulu tarhulahabi. Morim-be hadalame gaifi  
本 当 に まえ より 倍も 余計に 肥っていた。 馬 に 轡をし おわり
- 36 eŋemu toŋome t'uaci, olon šue amcarak8 ohobi, olombe sañabufi eŋemu  
鞍を おいて みると、 腹帯は 容易に 届かなくなっていた。 腹帯を 伸ばし 鞍
- 37 be toŋome gaifi morimbe yalume gaifi tederi caši yabuha. Be daŋ mo-  
を おき おわり 馬 に 乗って しまうと そこから 向うへ 行った。 ベ ダンは 馬に
- 38 rilafi yabume geneŋei t'uaci, emu ašta ñalma bethe de emu hujerku-i  
乗り 進んで 行きつつ みると、 一人の 若 者が あし に 一つの ひき白 の
- 39 weŋe be bethe de h8aitafi emu buŋ8 be weiŋe deri jafafi ilihabi. Buŋ8  
石 を あし に 結び 一匹の しか を 角 で つかんで 立っていた。 しか
- 203/  
1 be šindafi, buŋ8 fekšime goro yabume saburak8 oho maŋi, hujerku be  
を 放し、 しかが 馳けて 遠く 行って みえなく なって から、 ひき白 を
- 2 ušayai amcame genefi, buŋ8 be geli weiŋe-deri jafambi. Be daŋ ere  
ひきずりながら 追って 行き、 しか を また 角 で つかまえる。 ベ ダンは この
- 3 ñalma i hanci išinafi, tere ñalma de fonjime, ši ainaŋa ñalma, šinde  
人 の 近くに 至り、 その 人 に 尋ねて、「お前は どういう 人か。 お前に
- 4 ai baita bifi uttu yabumbi sere de, tere ñalma alame, be daŋ sere emu  
何の 用事が あって こう しているのか」と言う と、 その 人は 告げて、「ベ ダン という一人の
- 5 sain haha li yuan fai i sargan jui be gaime genembi seme donjifi goi-  
立派な 男が リュワンファイの むすめ を 娶りに 行く と きいてから 長い間が
- 6 daha biŋe, uttu ofi bi ere ba de tere be daŋ be aŋame h8sun be cendeme  
すぎて きた。 それで おれは このところに その ベ ダン を 待って 力 を ためしに
- 7 bedaŋ-ni emgi genembi seme uba de aŋame biŋe. Be daŋ ere i  
ベ ダンと 一緒に 行こう と ここで 待って いた。」 ベ ダンは この人の
- sain be  
なみなみでないの を
- 8 safi, moriñ-i emu da šika be gaifi, emu mudan išŋifi emu morin uba-  
知って、 馬 の 一本の 毛 を とり、 一 度 ふるって 一匹の 馬に
- 9 ŋambuha.  
変えた。

- 10 Ere moriñ-de tere ašikta be yalubufi, jue ñalma sasa yabume deri-  
この 馬 に その 若者 を 乗せ、 二 人は 一緒に 行き はじめ
- 11 buha. Yabume genepei udu ba yabufi t'uaci, joγ8n dalba de geli emu  
た。 進んで 行きながら いくつもの 場所を 通って行き みると、 道の 傍 に また 一人の
- 12 ñalma ere alim-be gamafi tere alin de šindambi, tere alim-be gamafi  
人が こちらの 山 を もって行き あちらの 山 においている。あちらの 山 を もって来て  
ere  
こちらの
- 13 alin de šindambi, uttu noolame haha be cendeme iliha bi. Jue ñalma hanci  
山 においている。このように 積み上げて 男 を ためして 立っている。二 人が 近くに
- 14 genefi ere alim-be tukire haha de fonjime, ši ainaya ñalma sere de,  
行き この 山 を もち上げる 男 に 尋ねて、「お前は どういう 人か」と言う と、
- 15 tere sain haha alame, emu be daγ sere baturu ñalma ere joγ8m-be du-  
その 豪 傑は 告げて、「一人の ベダン という 勇 者が この 道 を 通っ
- 16 leme, tere juan fai i sargan jui be gaime genembi seme donjifi, bi  
て、 あの ユワン ファイ の むすめ を 娶りに 行く と きき、 おれは
- 17 ubade h8sun be cendeme añame iliha biγe. Be daγ moriñ-i šika be gaifi  
ここで 力 を ためして 待って 立って いた。」ベダンは 馬 の 毛 を とって
- 18 geli emu morin obufi, tere sain haha be morin yalubufi, yilan ñalma  
また 一匹の 馬 にし、 その 豪 傑 を 馬に 乗せて、 三 人
- 19 oho, yilan ñalma joγ8n yabume geli udu ba yabufi t'uaci, geli  
になった。三 人は 道 を 行って また いくつもの 場所を 通って行き みると、 また  
emu (ñal-  
一人 の人
- 20 ma?) ereci genefi nade šam-be nikebufi šiγnambi, tereci genefi geli emu  
が こちらから 行って 地に 耳 を よせてあて きき耳を立てる。そちらから 行って もう 一
- 21 meyen šiγnambi. Utu šiγname yabure be sabufi, hanci genefi be daγ  
度 耳をそばだてる。このように 耳をそばだてて 歩いているの を みて、 近くに 行き ベダんが
- 22 fonjime, ši ainaya ñalma, ai be šiγname yabumbi sere de, tere šiγnak8  
尋ねて、「お前は どういう 人か。何 に 耳をそばだてて 歩くのか」と言う と、 その 耳ききの
- 23 ñalma alame, mini ere šan na i dorgi ñiγun dapkara ba be sain donjimbi,  
人は 告げて、「おれの この 耳は 地 の なかの 六 重の ところを よく きく。
- 24 nadan dapkara šumin ba be sain get'ukeleme donjirak8, jue šiden don-  
七 重の 深い ところを よく はっきり きかない。二つの 中間は
- 25 jimbi, utu oci, ši apši g8nime alihabi sere de, tere šiγnak8 ñalma hen-  
きく。」「そんなら、お前は 何を 考えて 待ちうけているのか」と言う と、 その 耳ききの 人は 言う

- 26 dume, tere be daŋ sere ñalma ere babe duɓembi seme donjifi, bi šiŋnara  
のに, 『あの ベ ダン という 人が この ところを 通りすぎる』 と きき, おれは 耳ききの
- 27 maŋa ñalma ofi, be daŋ ŋi emgi emu ba de yabuki seme g8nimbi. Be daŋ  
豪 傑 だから, ベ ダン と 一緒に 同じ ところ に 行こう と 思っている。」ベ ダンは
- 28 moriñ-i šika be emu da gaifi morin obuha maŋi, tere ñalma be yalu-  
馬 の 毛 を 一 本 とって 馬 にした のち, その 人 を 乗
- 29 bufi, duin ñalma yabume udu ba genefi t'uaci, geli emu ñalma noro i  
せ, 四 人は 行って いくつもの 場所を 通って 行き みると, また 一 人 湖 の
- 30 muke be ukinime gaifi, tere noro de gamafi dolombi, tere noro i muke  
水 を 飲み とり, あの 湖 に もって 行って 入れる。その 湖 の 水
- 31 be ašafi tere noro de gamafi huŋkerembi. Utu yabure be sabufi, hanci  
を 口に 含み あの 湖 に もって 行って 流し 込んでいる。こう しているの を みて, 近く に
- 32 genefi fonjime, ši ainaya ñalma, ere muke be ainu ašafi tere noro  
行って 尋ねて, 「お前は どういう 人か。 この 水 を なぜ 口に 含んで あの 湖
- 33 de gamafi dolombi seme fonjire de, tere muke ukinire maŋa ñalma hen-  
に もって 行って 入れるのか」 と 尋ねると, その 水を 飲む 豪 傑は 言う
- 34 dume, bi be daŋ sere ñalma be aɓame ere ba de tuttu yabume biye, be  
のに, 「おれは ベ ダン という 人 を 待って この ところ に ああ して いた。ベ
- 35 daŋ jici, emu ba de guculeme yabuki seme g8nimbi sere de, sunja ñalma  
ダンが 来れば, 一つ ところ に 仲間 になって 行こう と 思っている」と 言う と, 五 人は
- 36 acafi yabume, geli udu ba yabufi t'uaci, geli emu ñalma suye jafafi  
合して 行って, また いくつもの 場所を 通って 行き みると, また 一 人 斧を つかんで
- 37 yaŋa mou be h8alame yabumbi, ere suye i h8alara de gijalarak8 emu  
炭の 木 を 割って 歩いている。この 人が 斧 で 割る と きりくずを 出さずに 一つの
- 38 suye de emu meyen h8alambi. Ere mou h8alara ñalma de geli emu da šika  
斧 で 一 度で 割るのである。この 木を 割る 人 に また 一 本 の 毛
- 39 be morin obufi yalubufi, ñiŋun ñalma yabume udu ba yabufi t'uaci, emu  
を 馬 にして 乗せ, 六 人が 行って いくつもの 場所を 通って 行き みると, 一人の
- 204/  
1 ñalma beri niru jafafi deši waši gaptame yabumbi, ere i gaptaraŋe  
人が 弓 矢を つかみ あちこち 射て 歩いている。この 人 の 射る さまは
- 2 cecke i ere yasa deri goibume, tere yasa deri tucibumbi. Gaptaraŋe yar-  
小鳥 の こちらの 目 に 当て, あちらの 目 から 出した。射る さまは
- 3 ɓan-i šinyan (enduri niru) seci ombi. Ere ašikta be geli beye i hanci  
本当に 神のような 人 (神 矢) と 言える。この 若者 を また 自分 の 近く に
- 4 h8lame gaifi, nadan ñalma abka de gash8n arame jurgan i aŋ8n deo  
呼んで つれて 来, 七 人が 天 に 誓を たてて 義理 の 兄 弟を

- 5 arafi, tederi nadan ñalma morilafi yabume geneƷei li yuan fai duka de  
なし、そこから 七 人は 馬に乗り 進んで 行きながら リ ユワン ファイの 城門 に
- 6 išinaha maƷi, duka t'uakara ñalma došimburak8 oho maƷi, waƷ be daƷ  
着く と、 門を 番する 人が 入らせなかつ た ので、 ワン ベ ダンは
- bou bi loƷo be tucibufi duka t'uakara ñalma be sacime tuyebufi, šue  
宝の 腰刀 を 出し 門を 番する 人 を 斬って 倒し、 まっすぐ
- 8 došime dorgi h8aran de ebuhe, bou de došiha. Han-de alame hendume,  
入って なか 庭 で 馬をおりた。 家 に 入った。 王様に 告げて 言うのに、
- 9 šini tere lama yi sere sargan jui be bi seme donjifi gaiki seme  
「あなたの その ラマ イ という むすめ を ある と きいて 娶りたい と
- jiƷe.  
来ました。」
- 10 Han hendume, miñi sargan juibe belekeni (sic!) burak8, meñi ere bade  
王様が 言うのに、「わしの むすめを やすやすとは やらない。 我々の この ところに
- 11 emu sagda mama bi, šimari erte meñi mama be h8lame gajimbi, tere  
一人の 老 婆が いる。 明日の朝 はやく 我々の方の 老婆 を よんで 連れて来る。 その
- 12 mama emgi yilan ineƷi sujume oroldome, ši neneme išinjici uthai šinde  
老婆が 一緒に 三 日 走って かけくらべして、 お前が さき 着けば そしたら お前に
- 13 bure, mama neneme išinjici sueñi nadan ñalma i uju be gemu gaimbi  
やる。 老婆が さき 着けば お前たちの 七 人 のくび を みな とる」
- 14 seƷe maƷi, be daƷ tere aƷun deo be gaifi hotuñ-i tulergide tatafi, jai  
と言った ので、 ベ ダンは その 兄 弟 を つれて 城 の そとに とまり、 翌
- 15 ineƷi aƷ8n deo ishunde gisureme, buƷ8 be amcara muse i tere hujerku  
日 兄 弟は 互に 話して、「しか を 追う 我々 の その ひき白
- 16 be bethe-de h8aitafi buƷ8 amcara aƷ8n be uthai tere sagda mama i  
を あしに 結んで しかを 追う 兄 を ば その 老 婆 と
- 17 emgi sujubuci, weƷe h8aitarak8 oci tere mama i julergi de sujume  
一緒に 走らせれば、 石を 結ばなけれ ば その 老婆 の さき に 走って
- 18 jimbe kai. Mama i emgi tere hodun sujure ñalma be adabufi uƷihe.  
来る にちがいない。」 老婆 と 共に その はやく 走る 人 を つけて やった。
- 19 Mama i emgi yabume geneƷei yilan ineƷi joƷun de išinafi, mama i mei-  
老婆 と 一緒に 進んで 行きながら 三 日の 道 に 着いてから、 老婆 が
- 20 ƷereƷe jue kukuri muke biƷebi. Mama gisureme, haha jui ši taka  
擔いだ 二つの 壺の 水が あったのである。 老婆は 話して、「男の 子よ お前 ちよっと
- aƷa,  
待て、

- 21 bi majige muke omifi majige amuraki, ši aškan ñalma, bi sagda ñalma  
わしは 少し 水を 飲み 少し 休もう。お前は 若 者, わしは 老 人だ。
- 22 majige amurafi jai yabuki. Mama feksame fotume yargan-i yabume mu-  
少し 休み また 行こう。」老婆は 動悸がして 喘いで 本当に 行 け
- 23 terak8, amurame teye maŋi emu kukuri muke be omiha. Tere ašhata  
なくて, 休むために 腰をおろした あと 一つの 壺の 水 を 飲んだ。その 若者は
- 24 mama de baime hendume, mama miŋi yileŋu olhome katahabi, minde šiŋi  
老婆 に 頼んで 言うのに, 「婆さんよ 私の 舌は 乾いて からからになっている。私に お前の
- 25 tere omire muke be majige omibufi kaŋkara be subuci ojoro seye maŋi,  
その 飲む 水 を 少し 飲ませ のどが乾くの を とかせるが いい」と言う と,
- 26 mama hendume, burak8 oki seci, ši miŋi emgi yabure gucu oho be da-  
老婆が 言うのに, 「やりたくない とは言え, お前は わしと 一緒に 行く 仲間 だった に
- 27 hame, ši uthai omi sefi kukuri be alibume buye maŋi, tere ašhata alime  
よって, お前は 早速 飲め」と言い 壺 を わたして やった ので, その 若者は うけ
- 28 gaifi emu ergeŋ-i melefi soktofi amɣaya. Ere be muke seme omihaŋe  
とって 一 気に 飲んで 酔い 眠った。これ を 水 と思って 飲んだのは
- 29 gemu arki biyebi, omime soktofi aššame muterak8 oho maŋi, mama yifi  
みな 酒 であったのである。飲んで 酔い 動 けなく なって から, 老婆は 立ち
- 30 yabume deribuha. Tere aškata tere bade dedufi amɣaya, tere mama  
行き はじめた。その 若者は その ところに ねころび 眠った。その 老婆は
- 31 jui (jai?) ineŋi yabuha maŋi yilaci ineŋi tere ašhta teni getefi mama  
翌 日も 行った のち 第三 日に その 若者は やっと 目をさまし 老婆
- 32 i soŋko deri neyeme sujume deribuha, sujume yabuhai emu erin hona  
の あと から 追って 走り だした。走って 行きながら 一 刻 も
- 33 ohak8 mama be amcafi, mama i hanci išinaŋa tere mama ere ašikta i  
たたぬうちに 老婆 に 追いつき, 老婆 の 近くに 至るや その 老婆は この 若者 の
- 34 sujure sugdun de daribufi tere ba de tuyeŋe maŋi, tere ašikta šue  
走る 氣 に 通り過ぎられ その ところに 倒れた あと, その 若者は まっしぐらに
- 35 sujumbi. Ere yuan fai tere aŋun deo udu ñalma gemu ere ašikta i su-  
走る。この ユワン ファイ や その 兄 弟 や 幾人もの 人が みんな この 若者 の
- 36 jume jidere be t'uame bišire de, emu ñalma sujume jidere be sabuha.  
走って 来るの を みて いる と, 一人の 人が 走って 来るの が みえた。